

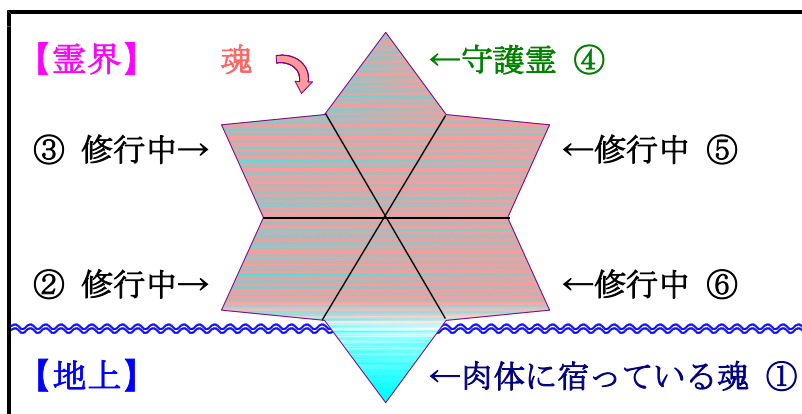
# ■ たましい 魂の世界

## 【人間の魂】

- 5 人間は総て四十八の神の子孫ですから、48種類の性格に分けられます。  
 人には48の性格があるということは、精神医学界の研究結果としても発表されています。  
 そのために、気の合う人と気の合わない人が存在します。  
 下記の6つの魂は、必ず協力し合える魂で組み合わせられます。
- 10 ・ 人間の魂は、性格の違う6つの魂の集合体です。  
 6つの内の1つが肉体に宿り、残り5つの内の1つが守護霊となります。  
 組になった魂がローテーションで入れ替わるイメージで輪廻転生して、肉体に宿ります。  
 (6人制バレーボールチームのようなイメージです。)
- ※ 輪廻転生は《97P》にて解説
- 15 ・ それぞれの魂の霊格の上下によっては、組み合わせられている魂が替わることがあります。  
 組み替えの際は、抜けた魂の位置に替わりの魂が入ることになります。(下図参照)
- ・ 前世のカルマの清算は、その魂が次に肉体を持った時に受けることになりますが、組になっている残り5つの魂も、その影響を受けることになります。
- 20 その割合は、肉体を持った魂が150のカルマを積んだとすると、本人が50、残りの100を他の5つの魂が20ずつです。  
 但し、守護霊は他の4つの魂よりも強くカルマの清算の影響を受けます。
- ・ ②や③の位置での修行として動物に転生する場合があります。  
 (※①の位置で肉体を持つときは必ず人間です。)
- 25 ・ 魂は、素粒子よりも細かい微粒子で出来ています。  
 幽体は分解出来ますが、魂は分解出来ません。  
 魂が分解出来ないのに同時に複数の場所に行く事が出来るのは、時間を超越しているから、瞬時に思った時間の思った所に行けるからなのです。(4次元の世界)
- 30

人間には、“神の魂を持った人間”と、“人間の魂の人間”がいます。  
 「神」が最初に人間を創った時は、「神」の魂を人間の身体の中に入れて地上で生活させて子孫を残し、その後、人間同士で子供を産み、新しい人間の魂が誕生したのです。

魂のイメージ図



①の前世は、隣接する②や⑥ではなく、1周前の①です。

この図は1つの魂が肉体に宿っている場合の図ですが、6つの魂すべてが幽界修行中の場合もあります。